



防衛装備庁技術シンポジウム

2015

日時 **11月10日(火)** **11日(水)**

10:00~1800

10:00~1630



場所 ホテルグランドヒル市ヶ谷 東館2, 3階

JR・東京メトロ・都営地下鉄線市ヶ谷駅徒歩3分

主催 防衛装備庁 〒162-8870 東京都新宿区市谷本村町5-1

HP: <http://www.mod.go.jp/atla/ats2015/>



ごあいさつ

昨年まで旧防衛省技術研究本部におきまして開催しておりました「防衛技術シンポジウム」は、防衛装備庁が新設された今年から、防衛装備庁の研究開発活動をはじめ、様々な取り組みについて国民のみなさまにご理解を賜る絶好の機会となるよう「防衛装備庁技術シンポジウム」として開催して参ります。これまでと同様、防衛装備品等の研究開発成果の紹介はもちろんのこと、4件の特別講演、さらに、「先端技術ブース」では防衛省外の先端技術の紹介もあり、活発な議論が行われることを期待しております。ご来場された皆様に、防衛装備庁の研究開発活動をはじめとする様々な取り組みを知っていただくとともに、防衛装備品等の創製に対するご関心とご理解を深めていただければ幸いです。

防衛装備庁 防衛技監 外園 博一



特別講演 於「瑠璃の間」



11月10日(火)

10:30～11:30

「第5期科学技術基本計画について」

内閣府 官房審議官(科学技術・イノベーション担当) 中西宏典 氏

13:40～14:40

「JAXA航空部門の研究紹介-超音速機研究および高高度無人機研究-」

宇宙航空研究開発機構航空技術部門

航空プログラムディレクタ 大貫 武氏



11月11日(水)

10:00～11:00

「デュアルユース政策」

政策研究大学院大学 教授 角南 篤 氏

13:00～14:00

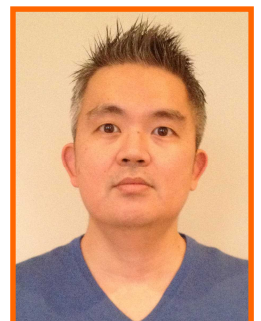
「人工知能と人工意識の未来～機械と脳の競争と協調」

静岡大学 学術院情報学領域・情報学部

准教授 狩野 芳伸氏

株式会社アラヤ・ブレイン・イメージング

代表取締役兼チーフサイエンティスト 金井 良太氏



オーラルセッション 11月10日(火) 於 瑠璃の間

No.	時間	件名	発表者(敬称略)
1-1	10:00 ~ 10:15	【開会挨拶】 防衛装備庁の発足と新たな体制／役割について	防衛装備庁長官 渡辺 秀明
1-2	10:15 ~ 10:30	防衛装備庁における研究開発と各種装備施策との連携について	防衛装備庁 防衛技監 外園 博一
特別講演			
1-3	10:30 ~ 11:30	第5期科学技術基本計画について	内閣府 官房審議官 (科学技術・イノベーション担当) 中西宏典
休憩(5分)			
オーラルセッションⅠ			
1-4	11:35 ~ 12:05	防衛生産・技術基盤戦略及び総合取得改革	防衛装備庁 装備政策部装備政策課長 森 卓生
昼休み(55分)			
1-5	13:00 ~ 13:30	防衛装備協力	防衛装備庁 装備政策部国際装備課長 池松 英浩
休憩(10分)			
特別講演			
1-6	13:40 ~ 14:40	JAXA航空部門の研究紹介 ー超音速機研究および高高度無人機研究ー	宇宙航空研究開発機構 航空技術部門 航空プログラムディレクタ 大貫 武
休憩(10分)			
オーラルセッションⅡ			
1-7	14:50 ~ 15:05	P-1について	防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官(航空機担当) 付 田光 智行
1-8	15:05 ~ 15:25	飯岡支所におけるRCS計測評価について	電子装備研究所 飯岡支所長 伊藤 敏晴
休憩(5分)			
オーラルセッションⅢ			
1-9	15:30 ~ 15:50	軽量戦闘車両システムの研究(その1) フィージビリティスタディ	陸上装備研究所 システム研究部 火力システム研究室 杉山精博
1-10	15:50 ~ 16:10	軽量戦闘車両システムの研究(その2) 乗員防護技術	陸上装備研究所 弾道技術研究部 火力・防護力評価研究室 池田 翔
休憩(5分)			
オーラルセッションⅣ			
1-11	16:15 ~ 16:35	サイバー攻撃対処技術に関する研究	電子装備研究所 情報通信研究部 サイバーセキュリティ研究室 加賀 智也
1-12	16:35 ~ 16:55	2波長赤外線センサを用いた 2波長融合処理について	電子装備研究所 センサ研究部 光波センサ研究室 小山 正敏
1-13	16:55 ~ 17:15	CBRN脅威評価システム技術の研究	先進技術推進センター 研究管理官(CBRN対処技術担当)付 CBRN対処システム技術推進室 坂上源生

オーラルセッション 11月11日(水) 於 瑠璃の間

No.	時間	件名	発表者(敬称略)
特別講演			
2-1	10:00 ~ 11:00	デュアルユース政策	政策研究大学院大学 教授 角南 篤
休憩(10分)			
オーラルセッション V			
2-2	11:10 ~ 11:30	防衛技術・装備品等の海外移転管理及び デュアルユース技術管理に係る経済産業省の 取り組みについて	経済産業省 貿易経済協力局貿易管理部 安全保障貿易管理課長 奥家敏和
2-3	11:30 ~ 11:50	平成27年度安全保障技術研究推進制度に ついて	防衛装備庁 技術戦略部 技術振興官 鈴木 茂
昼休み(70分)			
特別講演			
2-4	13:00 ~ 14:00	人工知能と人工意識の未来 ～機械と脳の競争と協調	静岡大学 学術院情報学領域・情報学部准教授 狩野芳伸 株式会社アラヤ・ブレイン・イメージング 代表取締役兼チーフサイエンティスト 金井良太 (共同発表)
休憩(10分)			
オーラルセッション VI			
2-5	14:10 ~ 14:30	日米共同研究「高速多胴船の最適化」について [Research on Future Trimaran (US-JAPAN Co- operative Research)]	艦艇装備研究所 システム研究部 水上艦艇システム研究室 宮内 新喜
2-6	14:30 ~ 14:50	CB防護技術に関する日英共同研究プロジェクト	先進技術推進センター 研究管理官(CBRN対処技術担当)付 榎本 薫 CBRN防護技術推進室
2-7	14:50 ~ 15:10	CBRN対応遠隔操縦作業車両システムの研究	陸上装備研究所 システム研究部 無人車両・施設器材システム研究室 後藤 和久
休憩(10分)			
オーラルセッション VII			
2-8	15:20 ~ 15:40	航空装備研究所の最近の試験について	航空装備研究所 航空機技術研究部 エンジン熱構研究室 金子 昂弘
2-9	15:40 ~ 16:00	艦艇装備研究所における無人航走体技術への 取り組みについて	艦艇装備研究所 システム研究部 水中対処システム研究室 小倉 潤
2-10	16:00 ~ 16:05	【閉会挨拶】	防衛装備庁 技術戦略部長 野間 俊人

サテライト会場 於「翡翠の間」
11月10日(火) 10:00～17:15 11日(水) 10:00～16:05

展示会場の一角にて、講演内容の中継を行っております。ポスター・展示の見学の合間に講演を聴くことができますのでご活用ください。(会場の混雑具合により、変更となる可能性もあります)

ポスターセッション/展示ブース ポスター一覧 於「珊瑚の間」「真珠の間」「翡翠の間」「芙蓉の間」
11月10日(火) 10:00～18:00 11日(水) 10:00～16:30

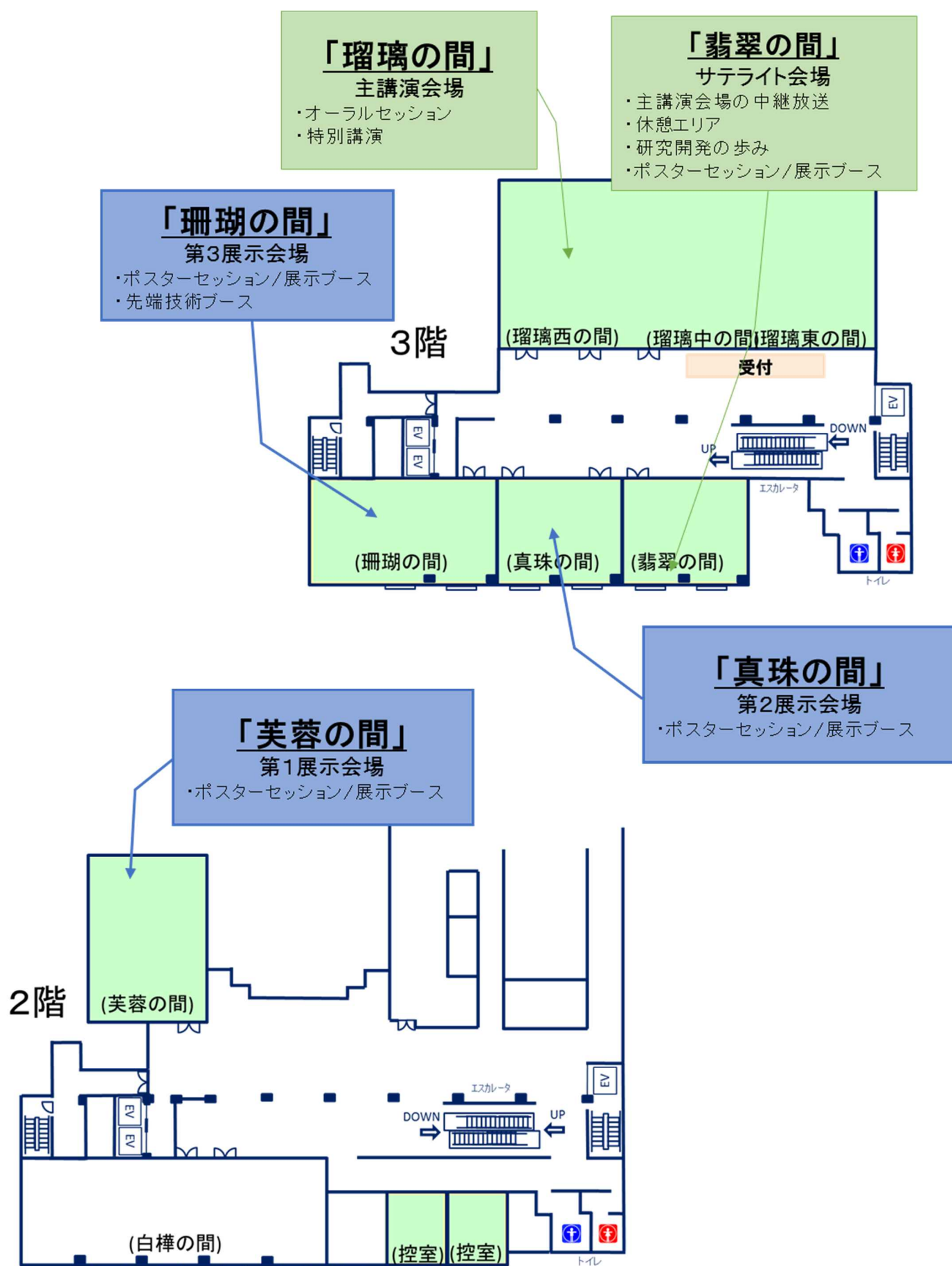
No.	件名	発表者所属
P1	新除染セット	装備開発官(陸上装備担当)付第5開発室
P2	真水を併用した水上艦艇用 新消火システム構成についての提案	艦船設計官付第3設計室
P3	次期機上電波測定装置	装備開発官(航空装備担当)付第6開発室
P4	先進RF自己防御シミュレーションに関する研究	装備開発官(航空装備担当)付第6開発室
P5	次期輸送機の開発	装備開発官(航空装備担当)付次期輸送機及び次期固定翼哨戒機開発室
P6	アクティブ電波画像誘導方式に関する研究	航空装備研究所誘導武器技術研究部光電波誘導研究室
P7	直巻マルチセグメント・ロケットモータの研究	航空装備研究所誘導武器技術研究部ロケット推進研究室
P8	軽量戦闘車両システムの研究(その1)フィージビリティスタディ	陸上装備研究所システム研究部
P9	ハイブリッド動力システムの研究	陸上装備研究所機動技術研究部
P10	軽量化履帯の研究	陸上装備研究所機動技術研究部
P11	艦艇の流体性能基礎技術の研究	艦艇装備研究所航走技術研究部
P12	水中音響通信ネットワーク	艦艇装備研究所探知技術研究部
P13	ベクトルセンサを用いた方位検出型音響センサ	艦艇装備研究所探知技術研究部
P14	音線経路差を利用した水中移動目標の近距離測位	艦艇装備研究所探知技術研究部
P15	陸上車両の簡易消磁試験結果について	艦艇装備研究所川崎支所
P16	情報システム時刻同期技術の研究	電子装備研究所情報通信研究部
P17	防衛用画像照合技術	電子装備研究所情報通信研究部
P18	航空機搭載合成開口レーダを用いた目標検出	電子装備研究所センサ研究部
P19	高出力マイクロ波技術について	電子装備研究所電子対処研究部
P20	アクティブ電波反射制御技術	電子装備研究所電子対処研究部
P21	化学剤遠隔検知技術の研究	先進技術推進センター研究管理官(CBRN対処技術担当)付
P22	高空における放射能塵の調査研究	先進技術推進センター研究管理官(CBRN対処技術担当)付
P23	防衛用ロボットの操縦のための身体動作認識技術	先進技術推進センター研究管理官(HR融合技術担当)付
P24	自衛隊の運用に即した被服類の取得に向けて(熱ストレス関連技術)	先進技術推進センター研究管理官(HR融合技術担当)付
P25	遠隔操縦式小型偵察システムの研究	先進技術推進センター研究管理官(HR融合技術担当)付
P26	飲み水確保のための池・沼水、天水、及び海水用中型可搬浄水器	防衛医科大学校 防衛医学研究センター 医療工学研究部門
P27	緩衝樹脂法による微弱酸性次亜塩素酸水を用いた対微生物(B)防護	防衛医科大学校 防衛医学研究センター 医療工学研究部門
P28	耐弾特性評価用軟物質の動的・衝撃変形特性評価	防衛大学校
P29	パイロットのワークロード評価ーシミュレータフライトにおいてー	航空医学実験隊第1部人間工学科
P30	低酸素ラット網膜の内因性光学信号の検出ーG-LOC関連症状のモニタリングー	航空医学実験隊第2部薬化学科

ポスターセッション/展示ブース 展示一覧 於「珊瑚の間」「真珠の間」「翡翠の間」「芙蓉の間」 11月10日(火) 10:00～18:00 11日(水) 10:00～16:30	
展示件名(代表的な件名を示しています)	所属
新除染セット	装備開発官(陸上装備担当)付
進水式、海上公試、艦艇模型 等	装備開発官(艦船装備担当)付、 艦船設計官付
次期輸送機の開発	装備開発官(航空装備担当)付
中距離多目的誘導弾の模型	装備開発官(統合装備担当)付
新弾道ミサイル防衛用誘導弾 全機模型	
将来戦闘機関連	航空装備研究所
中SAM改米国試験	
IED対処システムに関するパネル及びビデオ映像	陸上装備研究所
CBRN対応遠隔操縦作業車両システム模型	
将来三胴船 水槽試験模型	艦艇装備研究所
無人航走体模型	
アンテナのフレキシブル化技術の研究	電子装備研究所
低姿勢平面化等方性広帯域空中線	
シミュレーション統合システム	先進技術推進センター
CBRN脅威評価システム装置	
飲み水確保のための池・沼水、天水、及び海水用中型可搬浄水器	防衛医科大学校
緩衝樹脂法による微弱酸性次亜塩素酸水を用いた対微生物(B)防護	

先端技術ブース 於「珊瑚の間」 11月10日(火) 10:00～18:00 11日(水) 10:00～16:30	
近年、防衛にも応用可能な民生技術(デュアルユース技術)の積極的な活用がうたわれていることから、新設される防衛装備庁においてもデュアルユース性の高い、優れた先端技術の情報収集を積極的に行っていく必要があります。そのため、シンポジウムにおいて、防衛省外からの情報収集のため「先端技術ブース」を設け、公募形式で出展者を募集致しました。(詳細は会場にてご確認ください)	

研究開発の歩み 於「翡翠の間」 11月10日(火) 10:00～18:00 11日(水) 10:00～16:30	
防衛装備庁の技術・研究開発部門の前身となる防衛省技術研究本部の歴史と代表的な研究開発の歩みについて紹介しています。	

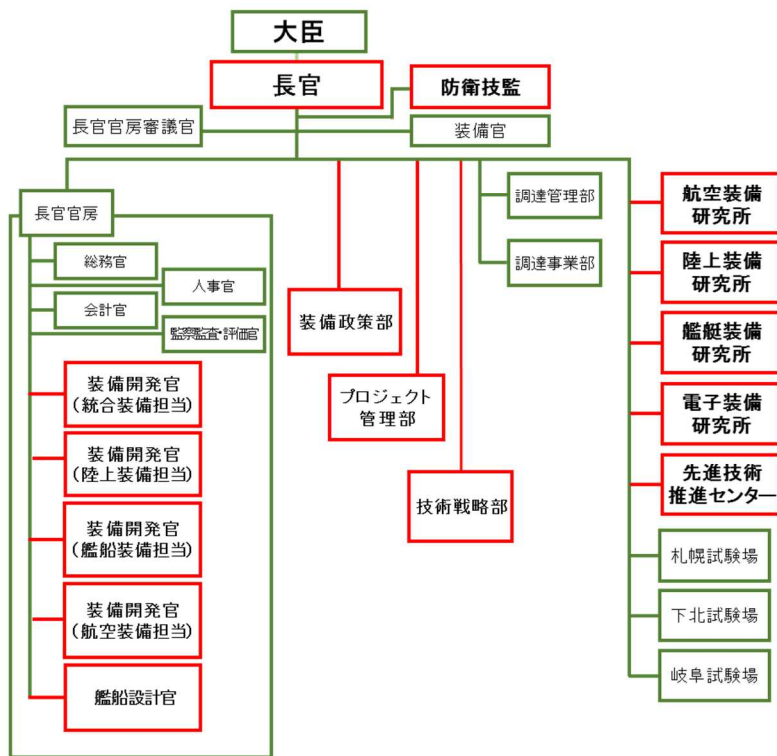
＊会場マップ＊



※詳細な配置等は会場にてご確認ください

＊防衛装備庁の技術・研究開発部門について＊

防衛装備庁の組織



赤枠の機関は本日オール、展示等で参加

装備開発官/艦船設計官の担当業務

装備開発官 装備品等の研究開発の実施

装備開発官（統合装備担当）

誘導武器及びその他の装備品などの開発

装備開発官（陸上装備担当）

弾薬、戦闘車両及び通信システムなどの開発

装備開発官（艦船装備担当）

艦船に搭載する機器、水中武器などの開発

装備開発官（航空装備担当）

航空機及びそれに搭載するエンジン、アビオニクスなどの開発

艦船設計官

ユーザー（海上自衛隊）の多様な運用要求等を艦船として具現化するため、初期設計段階における艦船の配置図の検討から、シミュレーションを用いた各種モデル検討までの幅広い艦船設計業務を行っています。

研究所/試験場の担当業務

航空装備研究所 [東京都 立川市]

将来の航空機及び誘導武器のための機体、エンジン、搭載機器、誘導武器のシーカー、誘導管制等に関連する要素技術やシステムインテグレーションの研究を実施しています。

陸上装備研究所 [神奈川県 相模原市]

火力、機動力、防護力に関する要素技術の研究を基本としつつ、陸上装備を構成品の集合体ではなく、システムとして捉え、先進的な民生技術を活用した陸上装備システムの研究を実施しています。

艦艇装備研究所 [東京都 目黒区]

海上戦闘において相手に優越する艦艇や水中武器を実現するための要素技術の研究を行うとともに、艦艇と搭載武器との間の整合性やトレードオフを踏まえたシステム化技術の研究を実施しています。

電子装備研究所 [東京都 世田谷区 (三宿)]

統合幕僚監部と陸・海・空三自衛隊が使用する装備のハイテク化を支えるため、情報・通信、レーダ、光波などに関する先進的な要素技術及びこれらを組み合わせたシステム化技術の研究を実施しています。

先進技術推進センター [東京都 世田谷区 (三宿)]

M&Sやゼロ・カジュアリティ（隊員の被害極限、生命保持）など、防衛装備技術の多様化に向け、防衛省が重視する基盤的技術を含む先進技術の装備品への適用研究を効率的かつ集中的に実施・実証しています。

シンポジウム担当：防衛装備庁技術戦略部技術戦略課技術企画室

電話：03-3268-3111 (内線26435)

e-mail: symposium@cs.atla.mod.go.jp